

平成24年度

## 新潟大学歯学部同窓会学術セミナーのご案内

- 1 床義歯の設計(保険適応・自費)からメンテナンスまで
- 2 全部床義歯における印象採得、咬合採得、咬合の要点  
－周囲組織の筋圧の均衡が保たれる領域内に良好な咬合の義歯を装着する為に－
- 3 歯内療法 of 臨床エッセンス－基礎から最先端まで－

平成24年度同窓会学術企画第2弾の募集案内をさせていただきます。

今回は「若手、もしくは復帰を考える女性歯科医師を対象とした講演会」として、それぞれの分野で活躍されている3名の講師による講演を企画いたしました。「床義歯の設計(保険適応・自費)からメンテナンスまで」は本学歯科総合診療部の田口裕哉先生、「全部床義歯における印象採得、咬合採得、咬合の要点」は本学包括歯科補綴学分野の渡邊清志先生、また「歯内療法 of 臨床エッセンス」は本学う蝕学分野の金子友厚先生に講師をお願いいたしました。3人の先生方はそれぞれの分野の一線でご活躍されているとともに、学部学生や研修医に対する教育のスペシャリストでいらっしゃいます。若手の先生方だけでなく、ベテランの先生方にも有意義な講演内容です。先生方におかれましては奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

また、本年度の第3弾のセミナーにつきましても「若手、もしくは復帰を考える女性歯科医師を対象とした講演会」として、それぞれの分野で活躍されている3名の講師による講演を3本立てで予定しております。こちらにつきましても、ご検討くださいますようお願いいたします。尚、3弾のセミナーにつきましても次回の同窓会定期通信で詳細のご案内および募集となります。ご了承下さい。

<b>日 程</b>	平成24年10月21日(日) 10:30～16:00(終了予定)
<b>形 式</b>	講義
<b>会 場</b>	新潟大学歯学部学部大会議室(2階)
<b>定 員</b>	50名
<b>参 加 費</b>	4,000円(昼食、テキスト代等含む)
<b>申し込み方法</b>	4ページに記載
<b>振り込み先</b>	受講申し込み受付票に指定の口座
<b>締め切り</b>	平成24年9月28日(金)
<b>問い合わせ先</b>	同窓会学術(gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp)

※当日の申し込みはできませんのでご注意ください。

※申し込みが定員に達した場合は同窓会学術のホームページにてお知らせいたします。

※自家用車の駐車は医歯学総合病院の駐車場をご利用下さい。

※キャンセルの場合、基本的に受講料の返金はありません。ただし、代理出席は可能です。受講者が変更になる場合には事前にご連絡ください。

主催：新潟大学歯学部同窓会

## 1 床義歯の設計（保険適応・自費）からメンテナンスまで

現在の歯科界において欠損歯列への治療法の一つとしてインプラントが急速に普及していますが、これまで少数歯欠損から多数歯欠損まで幅広く欠損補綴の主役を担ってきた可撤性義歯は今後なくなっていくでしょうか？私はいくらインプラントが普及しようとも今後も欠損補綴における可撤性義歯の重要性は変わらないと考えています。幅広い症例に対応できる設計の自由度など可撤性義歯だからこそのメリットがたくさんあるからです。

また、義歯というのは具合が悪ければ「痛い！」、調子が良ければ「なんでも咬めます！」と患者さんからの反応がすぐに現れる歯科治療のひとつであり、義歯をうまく操れるようになることは患者さんから喜ばれるだけではなく、患者さんからの大きな信頼を得るきっかけになることが多いとも感じています。義歯をうまく操るためにはいくつかのポイントがありますが、その中の1つに今回のテーマである「義歯の設計」があります。

今回の講演会では、対象が「卒後10年まで、もしくは復帰を考える女性歯科医師」とのことですので、クラスピングなどの義歯の設計から、欠損歯列の読み方、メンテナンス時の注意点などについて基礎的な事項を中心にご紹介できればと考えております。

可撤性義歯はやればやるほど、知れば知るほど奥が深く、興味が尽きない分野です。ややもすると敬遠されがちな義歯ですが、今回の講演会が皆様の可撤性義歯への興味のきっかけとなれば幸いです。

## 2 全部床義歯における印象採得、咬合採得、咬合の要点 — 周囲組織の筋圧の均衡が保たれる領域内に良好な咬合の義歯を装着する為に —

超高齢化時代を迎えて、全部床義歯の需要は一層増加すると予測されています。今後とも、我々にとって維持・安定の良好な義歯を提供することは、重要であり大きな課題です。

現状でも、無歯顎の患者様の義歯新製時における主訴は、義歯が安定しない、動く、咬み合わせが悪い、咬むと粘膜が痛い等が多く、その中には難症例と言われるケースも少なくないようです。しかも、臨床においてそれらの問題に対する特別な対策は無く、十分に解消することは容易ではないようです。

私は、その対策として、「歯科医師および歯科技工士は、各ステップの基本的要件を十分に理解して、各操作において基本を大切に忠実にやること」が重要であり、そのことがより良い結果に繋がると考えています。特に、『印象採得』、『咬合採得』、『咬合』は重要と考えています。

今回のセミナーでは、チェアーサイドの要点として、「良好な辺縁封鎖を得るための機能印象とは？」、そして「咬合採得時における周囲組織の筋圧の均衡が保たれるデンチャースペースとは？」について、これまでに臨床を通して学んだ要点を述べてみます。

ラボサイドの要点として、「咬合採得で求められたデンチャースペース内で良好な咬合を付与する為の人工歯排列と義歯の維持・安定を向上させる歯肉形態の付与」について、これまでの経験から得た理論と術式を述べてみます。

### 3 歯内療法の臨床エッセンス ―基礎から最先端まで―

Ni-Ti（ニッケルチタン）ファイル、実体顕微鏡（マイクロスコープ）、歯科用コーンビームCTなど、近年の歯内療法の進歩は著しく、その術式や治療に対する考え方は、大きく変貌しつつあります。そのため歯の保存に対する重要性はますます高まるばかりです。本セミナーにおいては、患者さんに歯をなるべく長く使っていただくための、そして歯を守るための歯内療法について、診断、あるいは歯髄保護・保存の意義と重要性について交えながら、根管形成法、安全な根管洗浄の方法や、根管充填法、偶発事故に対する予防法など、遵守すべき基本技術から難治な症例への対応までを丁寧に解説させていただきます。

#### 講師：

田口裕哉（新潟大学医歯学総合研究科 歯科総合診療部）

渡邊清志（新潟大学医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野）

金子友厚（新潟大学医歯学総合研究科 う蝕学分野）

#### タイムスケジュール：

10:00 受付開始

10:30～11:45 床義歯の設計（保険適応・自費）からメンテナンスまで

田口裕哉

11:45～13:00 昼食

13:00～14:15 全部床義歯における印象採得、咬合採得、咬合の要点

―周囲組織の筋圧の均衡が保たれる領域内に良好な咬合の義歯を装着する為に―

渡邊清志

14:30～15:45 歯内療法の臨床エッセンス ―基礎から最先端まで―

金子友厚

各講演は1時間を予定し、各講演後に15分程度の質疑応答を予定しています。

## 申し込み方法

- \* セミナー申し込み方法はメール（携帯メール可）での受付のみとなります。FAXによる受付は行いません。お間違いの無いようご注意ください。
- \* メールの到着順に、定員内の方には「申し込み確認票」をメールにてご連絡致します。申し込み確認票に参加費の振込先及び入金期日を記載致します。入金期日までに参加費をご入金ください。期日までに入金がない場合にはキャンセルとして扱わせていただきます。
- \* 定員外となった方は、自動的にキャンセル待ちとさせていただきます。定員外の場合にも、「キャンセル待ちのお知らせ」をメールにてご連絡致します。
- \* 「申し込み確認票」もしくは「キャンセル待ちのお知らせ」がメール送信1週間後にも届かない場合には、何らかの問題でメールが届かないトラブルが考えられます。再度お申し込みいただきますようお願い致します。

以下の必要事項を同窓会学術アドレス（gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp）にメールにてご連絡ください。メールのタイトルは「同窓会学術セミナー申し込み」としていただきますようお願い致します。

必要事項 氏 名：  
出身大学：  
何 年 卒：  
住所(含郵便番号)：  
電話番号：  
メールアドレス：